

元旦に精進を誓う

## 美郷町相撲連盟新年初稽古

1月1日、美郷中学校相撲道場で美郷町相撲連盟（伊藤福章会長）が主催する新年初稽古が行われ、会員や町内の小中高生などが参加しました。

最初に神事が行われ、相撲道の精進と安全を祈願。四股踏みやすり足などの基本稽古で体を温めた後は、本番さながらの取組を行いました。小中学生が先輩力士の胸を借りる場面もあり、力いっぱいぶつかり合う音が道場内に響き渡りました。練習の後は保護者の皆さんが作ったちゃんこ鍋に舌鼓をうちながら、今年の飛躍を胸に誓いました。



## 東京2020オリンピック・パラリンピック 事前トレーニングキャンプオンラインガイドに 美郷総合体育館リリオスが追加

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックの参加国・地域に合宿の候補地を紹介する事前トレーニングキャンプオンラインガイドに、美郷総合体育館リリオスがバドミントンの候補地として登録されました。

事前トレーニングキャンプオンラインガイド

URL : <https://pregamestraining.tokyo2020.jp/jp/>



バドミントンでつながる絆

## タイ王国バドミントン協会 会長が来町

1月9日、タイ王国バドミントン協会会長のパッターマ・リースワットラクル氏とその夫であるソムサク・リースワットラクル氏が来町し、総合体育館リリオス、宿泊交流館ワクアス、栗林酒造店を視察されました。

美郷町は2020年東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンに登録されており、タイ王国バドミントンチーム事前合宿の誘致実現に向け、今後も交流を深めていきます。



飛んでけ紙ヒコーキ

JALそらいく

～折り紙ヒコーキ教室～



1月18日、美郷総合体育館リリオスで、町内3こども園の園児たちを対象に「JALそらいく～折り紙ヒコーキ教室～」が開催されました。

教室では折り紙ヒコーキ協会認定の指導資格を持った日本航空株式会社の社員らが、折り方や飛ばし方を伝授。園児たちは自分で作った紙ヒコーキに顔を輝かせながら、元気一杯にその後ろを追いかけていました。



## 充実した東京でのふれあい 千駄木小学校との交流

### 仙南小学校

1月12日、13日に仙南小学校5・6年生の児童16名が東京都文京区千駄木小学校を訪問しました。両校の交流は2年目となります。

12日は3・4時間目の授業に参加した後、5時間目に交流集会が行われました。集会では秋田県の紹介を中心にプレゼンを実施。秋田弁クイズも好評でした。放課後は千駄木小学校の方の案内のもと、下町の商店街、文京区役所を訪問しました。

13日は、文京区の白山商店街の薬局、ふとん店、文房具店、パン屋で職場体験を実施し、さまざまな職場で地域の方々と触れ合いました。

2日間の日程で児童たちは、東京都の学校や地域の様子を感じ取り、改めて自分たちの地元である美郷町について考える良い機会となりました。



school topics

## 学校の話



美郷町消防団出初式にて  
あいさつをする松田町長

## コラム 風

### 「他人事と自分事」

美郷町長 松田知己

昨年の暮れ、ある団体の総会で東京に出張した際の夜、久しぶりに厚生労働省美郷支部（美郷町に派遣された4名の厚生労働省職員）の面々と一杯飲みました。時節柄ミニ忘年会となりましたが、国に戻っても美郷町を気にしてくれ、何かあればお役に立ちたいとの言葉に、とてもとても気持ち温かくなった忘年会でした。

そして後日、早速の実践。全

国紙に「美郷のミズモ」が掲載された由で、ある職員がその紙面を役場宛てに送ってくれました。付録紙掲載なので、秋田では無いかも知れないということでした。他人事でなく美郷を気にしてくれる気持ち、本当に嬉しいのです。改めて「縁」を考えるとともに、その有難さを噛み締めるところです。

さて私たちは、こうしたさまざまな縁に囲まれて過ごしております。そしてそれは、美郷町も同じです。いろいろな縁で事柄が動いております。その一つが東京オリンピック関連ですが、発端は一昨年、タイ王国のバドミントン選手が合宿したことです。それが縁でホストタウンに登録され、その後、駐日タイ大使閣下が来町。昨年末にはリリオスが東京オリンピック事前合宿ガイドに掲載され、先月は

タイ本国バドミントン協会会長もご来町されました。一つの縁からのこうした動き、どうか実を結んでもらいたいと願っております。

ところで、なぜ美郷町が東京オリンピックを意識するのでしょうか、それは国内開催という得難い機会を千載一遇の機会として、町づくりに繋げていきたいからです。スポーツ振興はもちろんのこと、教育も含む国際交流や物産交流などにも広がる可能性、大いにあると思います。そして東京オリンピックも、他人事ではなく自分事として認識できることで、きつと身近な祭典に感じられるものと思います。その結果、それが美郷町を語る事柄として記憶に留まり、ひいては美郷町への誇りや愛郷心にも繋がっていくものと信じております。

ということ、みなさまにはこうした動き、他人事ではなく自分事としてご理解いただけますようお願いいたします。タイ王国と美郷町、きつと何かが生まれます。「PPAP」的に…